〔文化財伝承等の取組事例〕

「野間小学校のアッチャメ踊り伝承活動の取組」

１．学校名	中種子町立野間小学校
２．学年・人数	６年生　43人　　５年生　39人
３．日時・場所	⑴　練習の日時・場所 令和７年10月　総合的な学習・体育の授業　野間小学校体育館 ⑵　発表の日時・場所 令和７年10月20日（日）　野間小学校運動場
４．伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事，伝統工芸品について	⑴　名称　中種子町指定文化財　下田集落「アッチャメ踊り」 （しもだしゅうらく「あっちゃめおどり」） ⑵　由来 歌に唱われている，下田嘉太郎氏が150年ほど前に中種子町の下田集落に住んでいた。馬の鞍作りが主な仕事だったが，親の代から下田集落で船を持ち，鹿児島や大阪方面と交易を行っていた。この交易の際に県外の文化に触れたと推測されている。 種子島では，人柄のよい者や容姿が優れる者，人と違った事を行う者を歌にして唱う習慣がある。下田嘉太郎氏も人柄がよく容姿が優れていたため，歌にして「下田嘉太郎節」として踊り継がれている。 ⑶　構成等 下田集落に伝わるアッチャメは，始めはゆっくりと歌うが，後半に進むほど速く歌い，踊りもそれに合わせて速くなる。衣裳は浴衣に腰下，白足袋，襷がけ，手ぬぐいでほおかむりである。竹筒に銭を入れて音を出し，片手に持ち替えながら音を鳴らして踊る。
５．文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	下田アッチャメ保存会から講師を招き，毎年９月頃に５・６時間目の総合的な学習と体育の授業で伝承を行っている。現在では，歌や踊りも子供たちが当日演奏していている。 保存会の講師が不在のときは上級生から下級生へと指導を行うことで，伝統を引き継いでいくことの大切さを学べるようにしている。
６．取組の様子（練習状況，発表の場等）	 運動会での発表
７．感想・意見 （参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【児童】 ・　みんな同じ動きをしていておもしろかった。 ・　難しかったけど，とても楽しかった。 【保護者】 ・　みんなが一生懸命，楽しそうに踊っていたので，こちらまで楽しかった。 【教職員】 ・　郷土芸能に関わる方や，学校での取組が少なくなる中，子供たちが地域の伝統芸能に触れる機会があることは，とても意義があることだと思う。